

はじめに

本誌は、いらなくなったものをごみにしない方法を集めた情報誌です。手放すときにできるだけごみにしない方法をいくつか紹介しています。

家庭で使われるものは、いつかは壊れて使えなくなったり、サービスが終了して買い替える必要が出てきたり、あるいは必要がなくなったりして、手放すときが訪れます。そんなときに本誌を使ってごみにしない方法を探ってみてください。

それでも、どうしてもごみとして処分するしか方法がなかったら、横浜市が発行している「ごみと資源物の分け方・出し方」の冊子、あるいは「横浜市ごみ分別アプリ」を使って、適切に処分をしてください。

本誌の使い方

本誌は、ごみにしない方法を大きく4つに分類し、色分けして紹介しています。いらないものが出たら、できそうなところのページをめくって読んでみてください。

	はじめに	
売る、譲る、寄付するとき	リユース（再使用）する	リユース・リサイクルショップの利用 市中回収事業者の利用（不要品回収事業者） ネットオークション・フリマアプリの利用 ネット掲示板、市町村の行政サービスの利用 フードバンク等への寄付
修理や部品を交換するとき	修理・修繕・補修する	家庭用電気製品／家具 パソコン・タブレット・携帯電話
たい肥を作る、制度を利用するとき	リサイクルする	生ごみ／家電4品目／小型家電 28 品目 金属類／古布・古紙／プラスチック
大量の不要品の整理、パソコン・スマホ内の写真などを消去するとき	片付けを依頼する	生前整理／遺品整理 デジタル機器のデータ
	空き家の管理と活用	横浜市の空き家条例、空き家・土地所有者に対する支援制度を紹介
	サステナブル・資源循環社会の主なキーワード	環境に関する問題を解決するための取り組みを国際的なこと、日本国内のことから紹介
	地域のお店・事業者・業界団体・国が定める指定法人	リユース・リサイクルショップ、修理業者、回収事業者など地域に根付いた事業者や国内の業界団体を紹介
	法律の豆知識	ごみの適正な処分や日本のリサイクル制度など主なものをポイントを絞って紹介
参考資料		

はじめに
リユース（再使用する）
修理・修繕・補修する
リサイクルする
片付けを依頼する
空き家の管理と活用
サステナブル・資源循環社会の主なキーワード
地域のお店・事業者・業界団体・国が定める指定法人
法律の豆知識

ごみにしない・ごみを出さない3Rの取り組み

3R（スリーアール）は、Reduce（リデュース：発生抑制）・Reuse（リユース：再使用）・Recycle（リサイクル：再生利用）の3つのRをとってまとめた呼び方です。3Rで目指すのは、ごみの焼却や埋立処分による環境へ負荷を減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）をつくることです。

■ 高度経済成長⇒最終処分場のひっ迫⇒3R政策

第二次世界大戦後の日本は、1955年から高度経済成長に入り、大量生産、大量消費による大量廃棄の時代に入りました。同時に大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの産業公害が全国で発生し、住民の健康被害が深刻な社会問題となりました。それはいまでも続いています。



1970年代の東京都心

大量廃棄はごみの焼却によるダイオキシンの発生、最終処分場（埋立）のひっ迫となりました。そこでごみを減らそうと2000年に循環型社会形成推進基本法を成立させ、3R政策を打ち出しました。2005年の主要国首脳会議（G8サミット）において、当時の小泉純一郎首相は、3Rを通じて循環型社会の構築を目指す「3Rイニシアティブ」を提案しました。

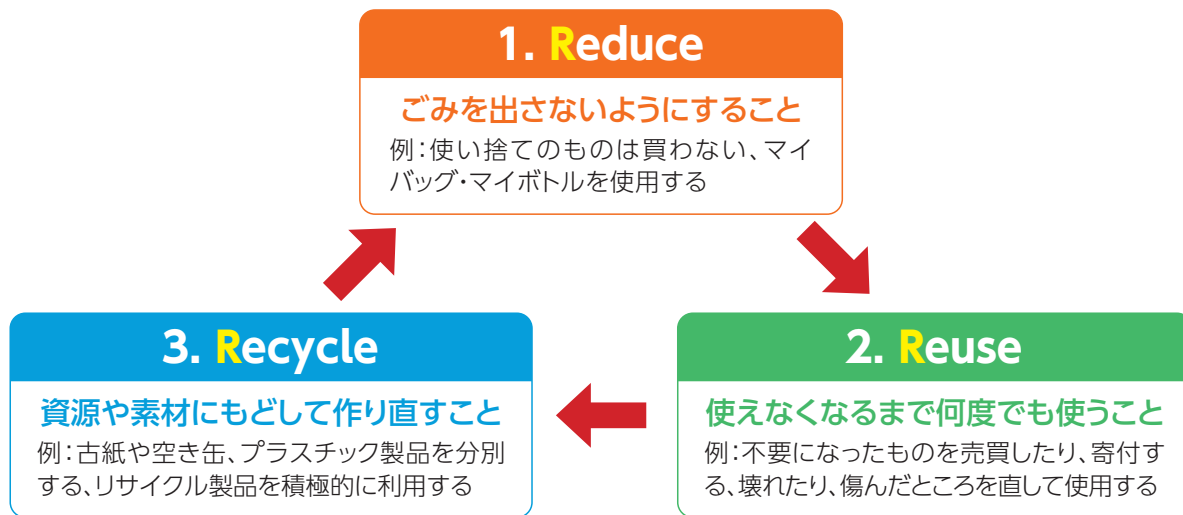


1992年の東京都埋立処分場
(収集したごみをそのまま埋立していた)

出典：植野正明他「写真で振り返る東京の清掃事業」2011年

■ 3Rの取り組み

取り組みの優先順位は、Reduce ⇒ Reuse ⇒ Recycle です。



■ 横浜市の取り組み

横浜市は、一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」を策定し、ごみそのものを減らすリデュースに力を入れています。

ヨコハマスリムプラン
G30のその先へ
ヨコハマ3R夢!

1 もっとチャレンジ・ザ・3R
総排出量(ごみと資源の総量)を平成37年度までに**10%以上削減**(平成21年度比)します。
平成25年度までには**3%以上削減**

2 ごみ減量から始めよう脱温暖化
ごみ処理に伴い排出される温室効果ガスを平成37年度までに**50%以上削減**(平成21年度比)します。
平成25年度までには**10%以上削減**

詳しくはこちら

引用：横浜市「G30のその先へヨコハマ3R夢!横浜市一般廃棄物処理基本計画 概要版」